

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症心身障がい児福祉ルームみらい早良		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 1日 ～ R7年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	R6年 12月 1日 ～ R7年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療的ケア児の受け入れが出来ている。	・医療的ケア児の受け入れに対し、看護師配置があり、機能訓練士等により専門的な支援が受けれる。 ・その日実施した医療ケア等を記載し、保護者との情報共有をしている。 ・主治医の指示書をもとに医療ケアの実施を行っている。	・福祉サービスについての知識や技術を深め、家族の相談や助言が行えるように努める。
2	毎回支援会議を行う機会を設けている。	・支援目標をそれぞれの職員で考えることで、全体で統一した支援を行える。 ・支援後には必ず評価を行い、反省点や次回に活かせる点等を話し合っている。	・職員間で意見交換をすることで、各々のスキルアップにつなげている。
3	内部研修や外部研修を受講する機会が確保されている。	・内部研修では、職員内で講師を行い知識を拭深めている。 ・外部研修では、オンラインでの研修参加が行えるように環境を整えている。	・研修の講師を行うことにより、職員の質の向上を図る。 ・内部研修の年間計画を立て職員が参加しやすい環境設定を行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流やご家族との交流が出来ていない。	・感染対策強化のため。 ・福祉サービスやスケジュールが違う為交流会の日程調整が難しい	・感染対策に気をつけ、交流や地域交流が行えるように検討する。 ・保護者様に交流会のニーズを確認し、検討していく。
2	屋外での支援があまりできていない。	・医療ケア児が多数おり、ケアの時間がそれぞれ異なっていた為、外出支援が難しい。	・外出する際は医療ケアの内容を事前に保護者様に相談し、短時間で外出できる場所がないか調べていく。
3	子どもに対する家族の対応力向上のための「ペアレントトレーニング」等や家族が参加できる研修の場の提供及び情報提供が弱い。	・保護者様から個別相談に対するアドバイスや助言は出来ているが、多くの保護者を対象とした研修や情報提供の取り組みが弱い。	・家族様に研修などニーズを確認し、必要であれば検討していく。 ・個別に相談されることは引き続き行い、相談しやすい関係性の構築に今後も力を入れていく